

☆ お薬を飲むとき、何で飲んでいきますか？ ☆

基本的に薬を飲む際は、お水で飲むように言われると思いますが、その温度に関してはあまり言われる事が少ないのではないかと思います。

食べ物や飲み物の量や温度は、胃の運動に影響を与える事が多く報告されています。

例えば、体温より低い温度のもの（4℃や15℃）では、胃の運動が一時的に減少すると報告されており、逆に体温以上のも（50℃や55℃）であれば、増加するという結果が出ています。ちなみに体温と同じ37℃では、胃の運動に影響は無いようです。

ではなぜ、冷たい水を飲んだ場合、胃の運動が低下するのでしょうか？これは、胃の中で冷たい水を体温と同じまで温まるのを待ってから腸へ排泄する働きがあるため、胃の収縮がゆっくりになると考えられます。

結果として、お薬を飲むときは冷たい水だと、薬によっては吸収が遅れる可能性も考えられるので、体温に近い温度の水で飲むことが大切であると言えます。

温かい水をたくさん飲むと胃腸が強くなる！？

温かい水をたくさん飲むと…

「血液の循環が良くなる」「新陳代謝が活発になる」「老廃物が排出され、弱った腎臓が活発に機能するようになる」

腎臓の機能が活発になると…

「老廃物や余分な水が排出され、むくみが取れる」「老廃物が減ると毒素を分解する肝臓の負担が軽くなり働きが良くなる」
「副腎（いろいろなホルモンを出す臓器）も活発になって、ホルモンの分泌が正常になる」

副腎が活発に寄贈するようになると…

「副腎皮質ホルモンが正常になるので、ホルモン系の病気予防になる」「インスリンが正常になるので糖尿病の予防になる」「消化に関する分泌液が正常になるので、胃腸の消化吸収が良くなる」

結果として『胃腸が強くなる』という事になります。よって、夏でも冷たいものを飲み過ぎると良くないと言われているのはこのような理由によるものなのです。

（ちなみに、水分は毎日約1.5L以上摂る必要があるとされています）

☆ ご意見箱に寄せられたご意見を掲示しています ☆

皆様からいただいた貴重なご意見を、北玄関に掲示することになりました。

これは院内に設置しておりますご意見箱に寄せられたご意見を掲示させていただいているものです。

皆様からいただきましたご意見を元に、より良い病院作りのため職員一同努力してまいりますので、よろしくお願致します。



☆ 病院からのお知らせ ☆

・ 外来担当医変更

内科

毎週火曜日 夜診 中川医師 ⇒ 伊藤医師（一般内科）

毎週土曜日 朝診（1・3・5週） 細野医師

⇒ 杞山医師

外科

毎週月曜日 夜診 張谷医師 ⇒ 川田医師

「患者さまの権利」

患者さまには次のような権利があります。私たちはその権利を尊重するような医療を行います。

- ・ 医療を受ける権利
- ・ 知る権利
- ・ 自分で決定する権利
- ・ プライバシーを守られる権利



医療法人 医修会 新河端病院

新河端病院 理念

信頼と安心の医療

1. 患者様に感動をしていただける医療を実践します
1. 患者様に選んでいただける病院づくりを実践します

病院に対するご意見ご希望、また「ふれあい」へのご意見をお聞かせ下さい。（備え付けの意見箱をご利用下さい。）